

白井田七のスヌメ。



田七人参(でんしちにんじん)をご存じでしょうか？

田七人参はウコギ科人参属の多年生草本で、朝鮮人参などと同じく人参の一種です。植えてから収穫までに3～7年もかかることから、三七人参とも呼ばれています。

中国雲南省の海拔1500～2000メートルの高地で栽培され、地中の栄養分を吸収する力が極めて強く、いったん収穫すると、その後その土地は10年間雑草も生えないほどにやせ細ってしまうと言われています。量産できないため、中国では古来から「金不換」、つまり「お金に換えられない」と言われるほど珍重され、一部の特権階級の人しか口にすることができない希少品でした。

特に注目すべきは「サポニン」で、高麗人参(朝鮮人参)の4～5倍含まれています。サポニンとは、その水溶液が泡立つ性質(発泡作用)を持つことから、シャボン(石鹼)を語源に名づけられた成分で、田七人参の働きを中心をなす成分です。サポニンは、分子の中に水になじむ働き(親水性)と油になじむ働き(疎水性)とが共存しており、石鹼と同じように油を溶かし洗浄できる界面活性作用を持っています。この界面活性作用は浸透性が非常に高く、サポニン自体はもちろん他の主要成分も合わせて体内への浸透性を高くすることが特徴で、主要成分が体の隅々まで行き渡る手助けをします。

田七人参には主成分であるサポニン(25種類)をはじめ、有機ゲルマニウム・フラボノイド・デンシチン・アルギニン・鉄分・ビタミンA・カルシウム・タンパク質・各種アミノ酸などが豊富に含まれ、中国でも健康志向が高い一部の富裕層の間では「田七鍋」にして食されているといえます。

📌 こんなお悩みはありませんか？

- 身体の衰えを痛感されている方
- お酒を飲んだ翌日がつらいという方
- いろいろな数値が気になる方
- 更年期前後でお悩みの方
- 食生活が乱れがちという方



お問い合わせ

EMと自然派化粧品のお店【ミントグリーン】

www.mint-green.jp mint@neofrontier.co.jp

[運営] 株式会社ネオフロンティア

千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGマリブウエスト26F

TEL: ☎ 0120-352-310 / FAX: ☎ 0120-234-716

白井田七 開発ストーリー

(株)アドバンス 代表取締役 白井博隆氏

今でこそ田七人参はいたるところで目にするようになりましたが、数年前まで日本ではまだ田七人参は全くその名も知られていませんでした。十数年前、雲南省の雲南大学教授の招待により現地の漢方薬局を訪れた時、中国の医者がほとんどの患者さんに処方する「田七人参」の存在を知りました。そこでそのことを質問すると、中国では古来より「金不換」と称される貴重な植物であることを知りました。何より驚いたのは、田七人参が数百年も前の時代から既に健康維持・心身の滋養に役立てられていたという事実でした。



ところが栽培地を案内してもらおうと、田七人参の栽培には農薬と化学肥料が大量に使用されており、しかも除草剤として枯葉剤を希釈して使われていました。私の実家は、長野県佐久市で無農薬で野菜やリンゴを栽培しており農薬の害を良く知っています。

私の人生の歴史が動く「その時」がやってきました。古来より「金不換」と称された、本当の田七人参を甦らそう。無農薬で、しかもさらに難しい有機栽培を行うことを決意しました。



中国奥地、雲南省のさらに奥。ベトナムやラオスとの国境近く。人里離れた標高2000mの高地に山を一つ借り切りました。他の田七人参の栽培地からも隔離されたこの地を選んだのは、農薬や農薬で汚染された農業用水の影響を完全に断つためでした。ほんとうの奥地なので道路もなく、私たちの最初の仕事は道路をつくることでした。他の農薬を使用する栽培地からの悪影響を排除するだけでなく、土壌そのものの力を最大限に高めるため、**有用微生物技術(EM)**を採用し、専用タンクで培養、土壌に注入します。

また現地の人の理解を得るのも一苦勞。資金もなくなり精も根も尽き果てた頃、やっと中国の人達との信頼関係ができたのです。

5年後、ついに無農薬で田七人参を栽培することに成功しました。そしてその後数年の歳月を費やし、農法の改善を続け、安心安全の証であるIFOAM(国際有機運動連盟)認証、有機JAS認証を取得しました。